

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

下田市吉佐美地区における農地活用方法について 検討しました。

賀茂



平成31年4月16日(火)、下田市吉佐美・大賀茂地区を担当する農地利用最適化推進委員と水田の活用方法について検討しました。

吉佐美・大賀茂地区はまとまった田園地帯であり、現在は概ね管理されていますが、担い手の高齢化や担い手不足といった課題が見受けられ、担い手への農地集積・集約化を図る必要があります。

農地利用最適化推進委員、下田市担当者と地図を活用しながら現状の把握を行い、今後の進め方について意識統一を図りました。

賀茂農林事務所は、担い手への農地集積・集約化や荒廃農地対策について関係機関・団体等と検討を進め、持続可能な農業を支援していきます。

賀茂農林事務所企画経営課 0558-24-2076

地すべり防止区域・海岸保全区域巡視員の委嘱式を行いました

賀茂

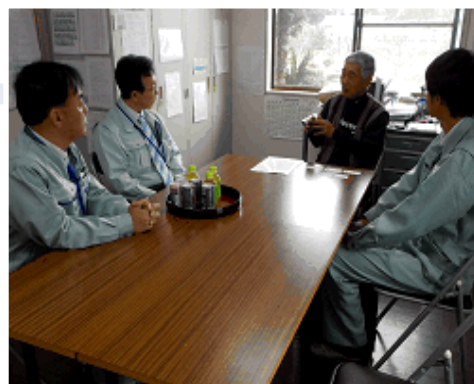
平成31年度地すべり防止区域・海岸保全区域巡視員の委嘱式を南伊豆町の伊浜地区、吉田地区にて行いました。

巡視員は今年1年間、毎月1回の施設点検を行い、その状況を報告してくれます。

その報告を受け、緊急性がある問題が確認された場合、当事務所にて施設補修等の対応を行うこととなります。

近年は局所的に短時間で豪雨が降ることが多く、全国でも土砂災害が絶えません。

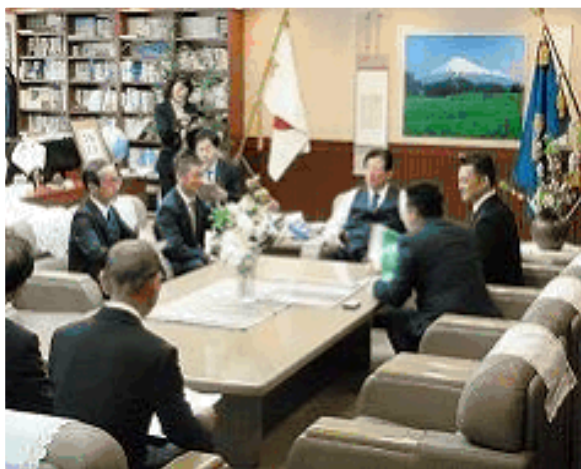
これらも未然に防ぐため、巡視員と協力して施設管理を行っていきます。



賀茂農林事務所農村整備課 0558-24-2080

株式会社テレファームの知事表敬訪問

東部



楽天グループの法人株式会社テレファームが首都圏向けの有機野菜の生産及び流通の拠点として本県に進出することになり、御殿場市と伊豆の国市において、農地中間管理機構による農地の賃貸借権の設定手続きを進めています。

先行して賃貸借権を設定し農地面積が大きい御殿場市では、荒廃農地の解消と利用の促進、野菜の生産拡大に意欲を示し、地域の農業振興に役立つものとして期待しています。

平成31年4月15日（月）に、楽天株式会社の安藤常務と㈱テレファームの遠藤代表取締役、御殿場市の若林市長が知事を表敬訪問し、事業概要を説明しました。

株式会社テレファームの活動計画では、オーガニックサラダの栽培から加工までの一貫生産、それを食卓まで直接届ける流通革命、野菜生産者への月額安定収入の実現、新規就農者の育成を行うこととしています。

東部農林事務所生産振興課 055-920-9158

川根本町議会が大井川用水の現地研修に来ました。

志榛

平成31年4月17日（水）に、川根本町議会が大井川下流域の農業用水の利用状況を勉強するため、大井川土地改良区及び細島発電所で現地研修が行われました。

「大井川用水の概要」、「県営事業の状況」、「水管理システムの概要」等について、志太榛原農林事務所・大井川土地改良区が説明を行った後、細島発電所で、小水力発電施設の発電状況の確認を行いました。

議員の方々は、小水力発電施設に高い関心を示されました。



志太榛原農林事務所農村整備課
農地整備課
牧の原用水課 054-644-9234

戦略畑地都田2期地区の事業説明会を行いました



本年度事業の説明

平成31年4月11日（木）に「経営体育成樹園地再編整備事業（産地強化型）[通称：戦略畑地]都田2期地区」の耕作者に向けた本年度事業の説明会を開催しました。

本事業は、平成29年度にスタートし、本年度は最終年度となりますが、総事業費に若干の余裕があることと、耕作者からの追加要望が多数寄せられていることから、現在、追加要望を取りまとめ、追加実施を検討しています。

今後、本庁と来年度の追加実施のための計画変更等の打合せを実施し、可能な範囲で取り組んでいきたいと考えております。

本事業で実施している園内道のコンクリート舗装や排水路の整備は、施工直後から効果が現れることから、耕作者からは早期の施工を求められているため、本年度工事の早期竣工に努め、事業効果の早期発現に繋げていきます。



工事前の耕作道（例）



コンクリート舗装後の耕作道（例）

農地地すべり防止区域巡視員委嘱状交付式 (引佐地区) を開催しました

西部

平成31年4月16日(火)に浜松市引佐協働センターにおいて、平成31年度の農地地すべり防止区域巡視員委嘱状交付式を行いました。

交付式に続き、打合せ会を行い、引佐地区の14名の方(うち新任の巡視員は3名)に1年間の巡視活動をお願いしました。

4月19日(金)には、天竜地区の巡視員に委嘱状を交付する予定です。

西部農林事務所では、災害の未然防止を通じて、地域農業の安心安全を支えます。



西部農林事務所用地管理課 053-458-7206
農地整備課 053-458-7228

「畑地帯総合整備事業三ヶ日地区」が農業農村整備優良地区コンクールで農林水産大臣賞を受賞

西部



平成30年度全国農業農村整備優良地区コンクール(全国土地改良事業団体連合会主催)において、県営畑地帯総合整備事業三ヶ日地区を推進した「浜名湖北部用水土地改良区三ヶ日町工区連合会」(会長:森田繁男)が農林水産大臣賞を受賞しました。

このコンクールは、基盤整備を契機として、豊かで競争力ある農業の実現に取り組んでいる優良地区の取組みを表彰するもので、三ヶ日地区においては、機械化を推進し経営規模の拡大や後継者の育成が進んだ全国の模範的な地区として評価されました。

平成31年3月27日、森田会長と役員4名は、前日に吉川農林水産大臣から受けた表彰状を携え、県庁で難波副知事、浜松市役所で鈴木市長を表敬訪問しました。

森田会長は、この賞を糧に、全国のミカン産地の模範として、今後も地域の活性化に努めていきたいと抱負を語りました。

西部農林事務所農村整備課 053-458-7224

西部

お宮の池は用水供給に向け準備万端整いました



浜松市北区都田町にある『お宮の池』は、地震時の耐震性能を確保するため、平成30年度工事で堤体上流側基礎部の耐震補強工事を実施しました。

工事の実施に当たり、現地が軟弱で堤体基礎部の地盤改良の準備に手間取ったことなどから一部の工事が繰越となったため、4月中旬からの貯水開始となりました。

そのため、水田用水の確保が心配されましたが、4月24日の降雨によりほぼ満水となり、田植えに向け万全の状態となりました。

本年度は、引続き、堤体下流側の耐震工事を実施するため、営農に支障を来さぬよう、早期の工事発注と適切な施工管理に努め、一刻も早い耐震性能の確保に努めていきます。

西部農林事務所湖北事業課 053-458-7229

戦略畑地引佐2期地区の事業説明会を行いました

西部

平成31年4月25日（木）に「経営体育成樹園地再編整備事業（産地強化型）[通称：戦略畑地]引佐2期地区」の耕作者に向けた本年度事業の説明会を開催しました。

本事業は、昨年度スタートし、本年度は2年目となりますが、予算要求を満たす当初予算

の割当があったことから、残っている計画箇所を全て実施できる見込みであります。

本事業で実施している園内道のコンクリート舗装や排水路の整備は、施工直後から効果

が現れることから、耕作者からは早期の施工を求められているため、本年度工事の早期発

注に努め、事業効果の早期発現に繋げていきます。



西部農林事務所湖北事業課 053-458-7229